

スポーツ紙におけるスポーツ表象の変化

～一面の内容分析から～

スポーツ科学研究領域

5009A093-3 渡辺 佑希

研究指導教員：リー・トンプソン 教授

【研究背景】

日本のスポーツ新聞は、「1946年に日刊スポーツが欧米諸国から遅れること約120年経ったのちに誕生した」[田所、1964:47]事で現在に至っている。

またスポーツ新聞について芹沢は、「どのような意味も生産しない。反対に、純粹に消費するだけといっても極論では決してないような記事が満載されている」

[芹沢、1992:43]と指摘し、ビレル&ロイはスポーツ新聞の特性からその他のスポーツ・メディアと同列に扱えない特異なメディアなのであると論じた[ビレル他、1979:456]。

上記した歴史と、メディアでの扱われ方を留意した上で、本研究では、日刊スポーツ(朝刊紙)と東京スポーツ(夕刊紙)を対象として、その中で表象されているスポーツの変遷を辿っていくこととする。その理由として、①朝刊紙、夕刊紙の中でそれぞれが日本で一番販売部数が多い事、②内容、読者層が全く異なる朝刊紙と夕刊紙の中において、この2紙は真逆の位置にあると言われている。つまり、2紙を比較しながら分析できるという利点がある事から選出した。このような理由を含めて、数あるスポーツ・メディアの中でも、スポーツ新聞が日本のスポーツの概観の変遷を辿るのに最適だと考えた。

したがって特異なメディアといわれているスポーツ新聞が、戦後間もなくから現在に至るまでどのようなスポーツを表象しているのかを浮き彫りにする事を本論文の目的とする。

【研究方法】

対象とした新聞は日刊スポーツと東京スポーツの2紙で、国立国会図書館のバックナンバーを利用した。なお調べた年は各々1951年(日刊スポーツのみ)、1960年、1970年、1980年、1990年、2000年、2010年とした。

まず2紙ともに新聞記事の一面を、文字の大きさに大見出し・中見出し・小見出し、そして写真・図表の5つに分けた。特に今回は大見出しを中心に分析を行った。大見出しは「顔」といわれる一面記事の中でも一番目につき、誰もがそれを見て一瞬に新聞記事の中身が分かるように設定されているからである。

これら5つのカテゴリーに分けた見出しを私が独自に定めたスポーツ種別に全て手作業で分類し、どのようなスポーツが扱われていたのか本論文の目的に沿って分析した。

【研究結果】

4つの視点から考察したい。

まず見出しの総数に関してだが、日刊スポーツでは、1970年を除いて創刊当時から見出

しの総数が減少している事がわかった。一方の東京スポーツであるが、こちらは日刊スポーツとは逆に創刊当初と比較すると見出しの数は増えていた。

見出し別のスポーツ種に関しては、日刊スポーツは、1951年に圧倒的な多さのスポーツを見出しで扱っていた。しかし、大見出しに関しては現在と変わらぬ数のスポーツを扱っていた。また1960、70年と扱うスポーツ種は減少したものの、それ以降2010年まではコンスタントに扱うスポーツ種が増加していた。一方東京スポーツは、1990年以降に多くのスポーツを扱うようになった。この傾向は今後も続くと思われる。

スポーツ種別の総数に関しては、日刊スポーツは野球に関する見出しが70%を占めた。しかし、2010年度は野球の割合が減少したので、今後はどんどん他のスポーツが増えていく可能性もあるだろう。

一方の東京スポーツは、野球とプロレスが半数以上を占め、競馬や芸能が続く形となっている。しかしこちらに関しても、2010年の様子と比較すると真逆の結果が見られており、今後は芸能や社会問題に関する話題が増えていくものと予想される。また、日刊スポーツと東京スポーツの2紙は扱っているスポーツ種は変化がない事がわかった。この点に関しては、朝刊紙と夕刊紙の間で大きな変化は見られなかった。

最後に女性記事に関してみてみたい。日刊スポーツ、東京スポーツ共に年々数が増えていく事がわかった。特に日刊スポーツは2000年のシドニー五輪において、女性アスリートが活躍した事もあって2倍以上増加した。東

京スポーツに関しては、1980年までは女性を扱う見出しは皆無に等しかった。それ以後、芸能・社会問題を扱う記事が紙面を賑わすようになると、女性に関する記事は少しずつ増加したが、女性アスリートを扱う見出しはまだまだ少ないのが現状であった。つまり、熊安が述べた「男性にかかわる記事の割合が増加している」[熊安、2000:162]という事は確認できず、2紙ともに女性に関する記事の割合が近年増加傾向を示した。しかし、全体の割合でみると2紙ともに10%に届いていない状態で、女性アスリートに限定するとさらに少ない結果となった。

【参考文献】

Birrell, S & Loy, J. W, 1979, "Media Sport: hot and cool" (糸野豊編訳、1988、『スポーツと文化・社会』、ベースボール・マガジン社)

熊安貴美江、2000、「新聞のスポーツ関連記事見出しとジェンダー：「月刊切り抜き体育・スポーツ」(1990年～1999年)より」大阪女子大学編『人間関係論集』17、145-163

芹沢俊介、1992、『スポーツ新聞はなぜ面白いのか』、ジャブロン出版、p43

田所泉、1964、「スポーツ新聞の顔」、『新聞研究』156、日本新聞協会、46-49

